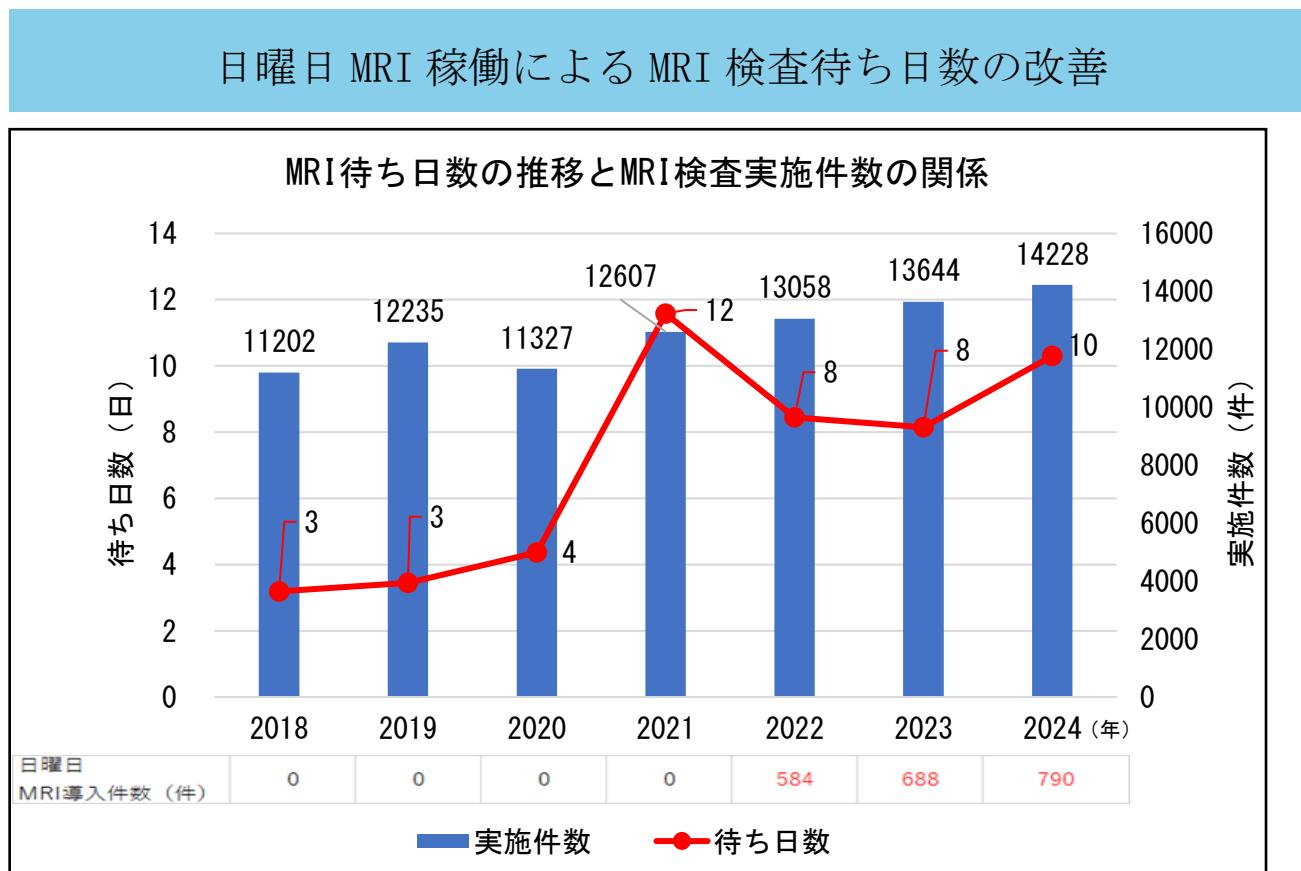


□日曜日 MRI 稼働による MRI 検査待ち日数の改善



➤ 指標の説明

MRI 検査は診断・治療方針決定に直結する検査であり、待ち日数（検査を予約した日から検査を受ける日までの日数）は診療の迅速化を反映する重要な指標です。当院では、検査件数の増加に伴い、待ち日数が増加傾向でしたが、日曜日 MRI 稼働および稼働枠の拡充により、待ち日数の増加を抑制する取り組みを実施しています。本指標は、これらの取り組みの有効性を可視化し、診療・診断の迅速化を目的として評価するものです。

➤ 定義

分子 MRI 検査を受ける全患者の待ち日数（検査を予約した日から検査を受ける日までの日数）

分母 MRI 検査を実施した件数

補助指標 日曜日の MRI 検査導入件数

➤ 評価

ポストコロナ禍以降、MRI 検査の需要が増加し、MRI 検査の予約待ち日数が延長したことから、診療方針決定の遅延が懸念されました。このため、2022 年度より日曜日の MRI 稼働を導入し、定期的に検査枠の拡充を行ってきました。その結果、MRI 総件数の増加にもかかわらず、待ち日数は 2021 年度の 12.0 日から 8~10 日台に安定し、治療方針の決定および診療効率の向上が確認されました。今後も稼働状況および待ち日数を継続的に評価し、診療・診断の迅速化を図るとともに、適切な医療提供体制の維持に努めます。